

鳥取空港のリモート化について（補足説明資料）

平成26年 1月21日
 空 港 港 湾 課
 交 通 政 策 課

<参考1：新たな着陸経路（RNAV）の使用状況>

経路が設定された12月12日から1月19日までの間の着陸経路の使用状況は以下のとおり。

単位：便

着陸経路	293便	295便	297便	299便	合計
西側	23	17	21	22	83
東側（従来の経路）	3	7	17	1	28
東側（新しい経路）	13	14	1	15	43
合計	39	38	39	38	154

※この期間中、欠航したのは12月28日の2便（往復を含めると4便、去年は10便）

297便の就航機材はA320のため、通常、新しい経路は使用できないが、12月28日はB737に機材変更の上、新しい東側経路を用いて着陸した。前後の便は欠航しており、新しい経路の設定により欠航を免れたものと考えられる。

これを含め、視界の悪い西風時に、新しい経路により欠航を免れたものがこれまでに2～3便あったものと考えられる。

<参考2：鳥取空港5便化の現況>

3月30日からのサマーダイヤ（上半期事業計画）で鳥取空港の5便化が実施されるが、全日空の上半期事業計画は、1月20日の週に公表される予定であり、具体的なダイヤもその中で発表される。

鳥取県から全日空に対しては、バランスのよい発着時間のダイヤとなるよう申し入れしている。